



市政同志会
江端 一高 議員

「森林政策について」

答 新たな森林管理システムの導入に向け、森林環境譲与税を活用した事業を展開していきたい。森林経営管理法に基づく事業以外にも、山際での森林整備や木材利用促進を図るとともに、獣害対策にも寄与する市独自の事業も検討していきたい。

「つつじマラソンで地元食材のおもてなしをするべき」

答 給水の内容の充実、給食については、実施をした場合、どのようなものを提供するか、提供の方法、衛生管理面も含めて研究、検討を進めたい。

「違法薬物使用防止の教育について」

答 各小学校では学校の要請に基づき、鯖江警察署の生活安全課から講師に来ていただき「ひまわり教室」という薬物使用防止教室を開いている。

保護者への周知については保護者会で大勢集まったときに薬物使用防止のチラシを配付して理解を求めることから始めるなど、今後研究していきたい。



市政同志会
帰山 明朗 議員

「新型コロナウイルス感染拡大防止と効果的な緊急経済対策を求む」

問 市の経済への影響と今後の対応は。

答市長 とりあえず既存制度での補償料増額の約1億円規模の緊急経済対策を実施。これから雇用、下請、金融返済緩和などの調整も出るが、国・県の動向を見て救えないものを本市としてどうするかが大きな課題。鯖江市独自の制度もこれから十分考える。

問 4月に市内で開催予定の中国体操チーム事前合宿は、感染予防・拡大防止を最優先に中止すべきだ。

答市長 既に中国体操協会へは日本の現状、宿泊・合宿での衛生管理・環境整備面の非常に厳しい状況を伝え、事前合宿中止を含め検討している状況も報告した。中止も含めた方向性も出さざるを得ないと思う。



その他の質問

- 鯖江市手話言語条例の取組推進を
- 観光推進については、いわゆる稼いでいく観光も視点に置くべき



市民創世会
大門 嘉和 議員

「第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略について(Uターン促進施策)」

問 政府は第2期総合戦略の基本方針の中で高校でのふるさと教育に力を入れている。しかし、小中学校でのふるさと教育も更に重要ではないか。

小中学校での取組の現状とこれからの取組は。

答教育長 鯖江市学校教育基本方針に、ふるさと学習を通じた郷土を愛する心の育成を重点施策として位置づけている。小学校では社会科の現場学習、地場産業体験学習により、児童が主体的に地域の文化や産業、

歴史などに関わる活動に取り組んでいる。

中学校では従来から地元企業と連携し、プロのデザイナーから眼鏡を題材としたデザイン実習を行う産業教育支援事業、眼鏡など地元産業の職場体験活動、さばえものづくり博覧会への参加などを通して地場産業の理解に努める教育に取り組んでいる。

今後も郷土に対する誇りと愛着を育てていく。

